

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ONE SKY		2025年 1月 8日				
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・活動毎にスペースを分けて取り組めるように、人数を調整するなどして十分なスペースを確保しております。	・子ども達が安心・安全に過ごせるよう活動内容等を工夫して、十分なスペースを確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・配置数が適切になるよう、勤務状況に応じて配置しています。	・今後も適切な人員配置になるよう、勤務状況等を考慮し、配置していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・その日の利用者様の状況に応じて、その都度工夫し、改善を行っている。	・今後も子ども達一人一人に合わせた、過ごしやすい環境作りを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日清掃・消毒を行い、清潔な空間を保てるよう徹底している。	・今後も快適に過ごしていただけるように、清潔な空間を保っていきます。 ・今後は施設見学の機会などを設けるなどして、どのようなところなのか知ってもらえるようにしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・毎日の会議の場で業務内容を振り返り、改善につながるよう話し合いの場を設けています。	・今後も振り返りを行い、改善で出来るところは改善に努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・保護者様との連絡帳において、日々気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を記録し、振り返りを行っています。	・今後もより密に保護者様、各関係機関と連携を取り、よりよい支援に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・第三者の方に依頼をし、業務体制を確認して頂いております。	・必要に応じて、その都度実施していきたいと考えております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・事業所内での開催の他に、外部への研修にも積極的に参加する機会を設けています。	・今後も研修の情報を職員に周知し、参加の機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・HUGを通して行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。	・今後も分かりやすい形で情報の発信が出来るようにしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	・保護者の方から聞き取りを行い、それを元に作成をさせて頂いています。	・今後も常に利用児童及びその保護者の立場に立って、効果的な支援を行うように心掛けていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	・児童発達支援管理責任者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。	・今後も原案作成後、職員間で会議を行い、適切な支援内容を作っていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・個別支援計画書を全職員で確認し、実施しております。	・今後も職員間で確認を徹底し、支援計画に沿った適切な支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・毎月の会議の場で子ども達が楽しく過ごせるよう、療育内容の立案・作成をしています。	・今後も多くの人と関わりを持てるようにし、様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるように活動プログラムを考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・活動プログラムが同じにならないように、職員間でプログラムを検討し、変化をつけて行っております。	・今後も子ども達の生活の充実に向けて、活動内容の工夫をしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	・子ども一人一人の状況に応じて、個別での支援・集団での支援を項目に入れて作成しております。	・今後も全職員で確認を行い、計画書に沿った支援を実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・役割分担の打ち合わせを会議の場で行い、その都度確認するようにしています。	・今後も事前の確認を行い、役割分担をしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・支援で成功した点や工夫が必要な点などを職員間で意見を出し合い、次回の支援に繋げています。	・今後も職員間で共有をしっかりと行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・保護者様との連絡帳において、日々気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を記録し、振り返りを行っています。	・今後もより密に保護者様、各関係機関と連携を取り、よりよい支援に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っております。	・今後も子ども達の状況に応じて、定期的に見直しを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・毎月、代表・管理者による会議を開催し、連携を図っております。	・今後も定期的に会議の場を設けていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5	・現在医療的ケアが必要な子供はおりませんが、地域・学校とその都度連携を図っております。	・必要に応じて、地域・学校とその都度連携をしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	・主に児童発達支援管理者・代表・管理者で行っております。	・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・高校を卒業した子どもはおりませんが、高校進学を機に卒所した子どもについては、関係各所と連携を取り、情報提供を行いました。	・卒業後の進路の選択肢が増えるよう関係各所に赴き、多くの連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	・研修には、職員全員に積極的に参加するように伝達しております。	・今後も職員全員に研修の情報を共有し、積極的に参加するように伝えていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・地域で開催されたお祭り等に参加しました。	・今後も地域の祭りや音楽祭・パレに参加をしていく予定です。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	・連絡帳とLINE・送迎時の会話でお伝えしております。	・今後も日頃から丁寧な説明を心掛けていきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	・今年度は、実施出来ませんでした。	・ペアレントトレーニングには今後力を入れていきたいと感じています。また、事業所内外で研修会を多く開き、保護者様の支援につながるようにしていきます。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	・契約の際に説明しております。また、支援内容に関しては日々の連絡帳やラインを使い、行っております。	・今後も、より丁寧な説明を心掛けていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2	・今後も丁寧な説明を心掛け、保護者様と一緒によりよい支援計画を作成してまいります。	・今後も丁寧な説明を心掛け、保護者様と一緒によりよい支援計画を作成してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	・相談を受けた際には、児童発達支援管理者が中心となり、職員間で話し合い、対応しております。	・今後も希望に応じて相談を受け付け、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	・今年度は実施出来ませんでした。	・定期的に事業所の保護者会等を開催し、情報の共有や保護者様同士の連携を支援してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・苦情などがありましたら、職員全員で解決案を出し、対応しております。	・今後もいただいた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応するようにしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	・HUGを通して行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。	・今後も分かりやすい形で情報の発信が出来るようにしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報には細心の注意を払い情報漏洩なきようにしております。	・今後も個人情報につきまして、研修等を行い、情報漏洩がないように徹底してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	2	・LINE・電話・紙ベースなどで伝達し、状況に応じて理解しやすい形で情報をお伝えしております。	・今後も一人一人の状況に応じて、対応の方をしていきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・地域の催しの際に、会社全体でスタンプラリーや屋台の出店を行いました。	・今後も会社全体として催しを企画し、地域の方との交流を持つ機会を作っていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・各マニュアルを作っており、職員間で周知徹底をしております。	・保護者の方にも周知して頂けるように、定期的に各マニュアルをHP上に公開してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・避難訓練などを行う際には、職員が避難場所の確認・避難時の役割分担などを考えて対応出来るようにしております。	・今後も定期的に災害を想定した避難訓練を実施してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・食物アレルギーに関しては、会議とおやつケースに記載し全職員が見える状況にして、誤って事故が起きないようにしております。	・今後も職員間で情報の共有を行い、アレルギーに対しての問題にも怠ることなく対応してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	・ヒヤリハットなど、毎日の会議で話し合いを行い、全職員で共有します。	・今後も随時共有を徹底していき安全に事業運営を行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	・虐待防止に関しては、会議の際に検討を行い、職員の研修を行っております。	・社内研修の他に外部研修への参加をしていき、職員間での共有をしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・拘束を行うケースがありませんでしたが、必ず事前に説明と了解を受けてからの実施を致します。	・身体拘束は行っていませんが、活動について子どもの安全確保のための行動制限に関しては事前に子どもや保護者様に説明し了承を得てまいります。	